

施設ケアマネ研修会／施設見学会開催

施設委員会

委員長 西山 恵子

施設ケアマネ研修会

講師 徳島県介護支援専門員協会
副会長 津田 祐子 氏

平成16年9月19日グリーンヒル穴吹におきまして、施設ケアマネ研修会が開催され、各施設のケアマネジャー30名が参加いたしました。

今回、講師の津田祐子副会長より、「ポジティブな施設ケアプランの立て方・考え方」という演題で、ポジティブな施設ケアプラン案とは何か、



ポジティブな施設ケアプラン立案に必要な視点、アセスメントの流れ、施設サービス計画書の書き方等についてのポイントをわかりやすく、ユーモアを交えて講演していただきました。

“ポジティブとは、「積極的、肯定的、正の、陽の」意で、人は「嬉しい、楽しい、役に立つ、良かった」といったポジティブな気持ちになるとナチュラルキラー細胞が活性化し、免疫能力が上昇すると言われる。期待、希望が生命力維持・拡大に効果があるのなら、ポジティブな施設ケアプランを立ててあげた方がよい。利用者の計画とするためには、まず、利用者の視点に立ち、「自立」のアセスメント、「期待」のアセスメントを行い、ポジティブな施設ケアプランに導くことが必要である”とのことでした。

各施設で同じ悩みを持つ30名のケアマネジャーの皆さんは、この研修で、今までの施設ケアプランが、スタッフのためのプランになっていたことに気づいたのではないかと思います。これから、利用者に生きがいを与えられる施設ケアプランの作成を目指して、頑張りましょう。

施設見学会

グループホームあさがお

10月17日（日）の午後、「グループホームあさがお」（大原町）に於いて、施設見学会が行われました。参加者は20名。

まず、管理者の方よりグループホームの概要の説明を受け、続いてホーム内を見学させていただきました。中庭に大きな「やまぼうし」の木があり、その木を中心に「杉」の木をふんだんに使った居室がぐるりと囲んでいます。木のぬくもりが、一層家庭的な雰囲気をかもし出しています。「どこの町内会から、おいでなしたんで…？」杖をついている利用者様（男性）から声を掛けられました。他の利用者様も柔らかな日差しの中で、穏やかにゆったりと過ごされています。

敷地内には菜園場があり、スタッフと一緒にチューリップを植えたり、さといもの収穫をされ「明日のおかずにする」と話されている方もおいでになりました。小規模施設ならではの、馴染みの関係（人・物）があり、良質のケアが行われていると思いました。

見学の後、ホーム側から2つの症例紹介があり、検討会になりました。夜間せん妄や帰宅願望の症例に、日頃悩んでいる参加者も多く、熱心に質疑応答をされていました。現状にとどまらず、常にケアの質の向上を目指そうとする皆さんの姿勢に感銘を受けると共に、非常に有意義な見学会になったのではないかと思います。

帰り際、はじめに声を掛けて下さった利用者様が「気をつけて、帰んなはれや〜。」と手を振って見送って下さり、なお一層心豊かに帰路につくことが出来ました。有難うございました。

